四扇上

胡蝶の

曜文庫

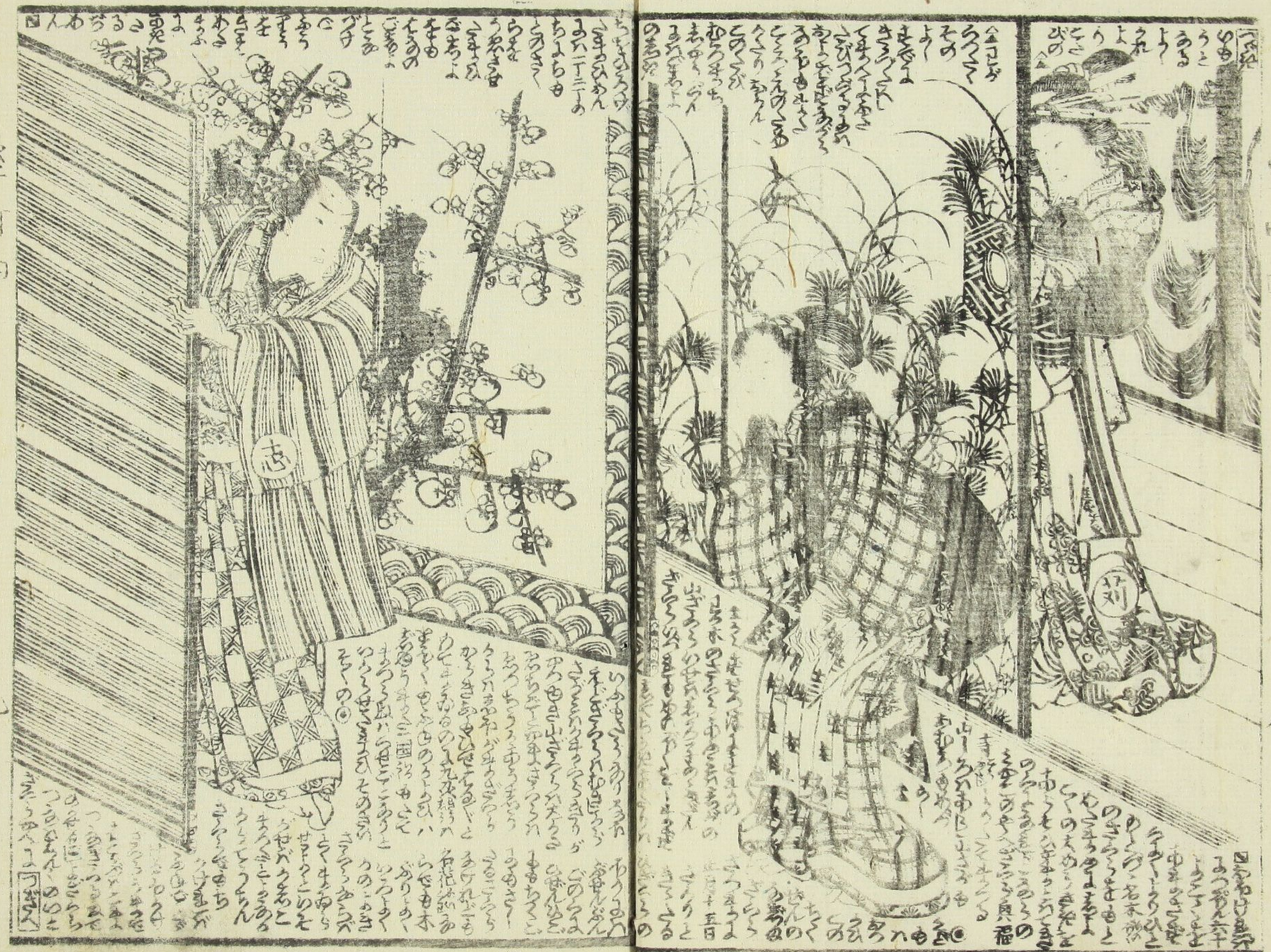
源氏繪の源氏君を見るが風匂ハ高けれど下福良にて愚な顔昔人の眼にハ美男あらゆゑ我々が見る所ハ柳島の叟が筆のころ氏さんとハ競ひ此君の愛形ハ其紫の流行る源にあらゆゑ頼朝や義經を源氏の大將と覺えてゐるのが近頃ハ源氏とのへば紫文を訳せる鄙源氏のことありとのみおぼしめす小姐まくあらぬ室町源氏をいふとまゐても是にハ未光うぢのやうな次女がなのぜなれと幼意も咎なひしと聞ひこハ有難き源氏の餘光弥身に染先師の恩と巻の胡蝶の夢にも忘れず遺風を慕へどのことよりハ拙く彼と此とハ世界うら皆無ちがへど源氏の名を冒しし故に頗售をて三編既に一時に發販し時もきらいね弥生の新版蝶の翅の四編におよび白粉ごがれ遊女が鏡臺其頌城の龜鑑ともいふべき譚に轉久初の筋ハ一旦まれても断ていて續く源氏香そハ[illegible]の格と分ても未に合ふをば俟せてまへと云

甲子三月新刊

一白老人種彦自序

山櫻桃やと
稲の屋
室町将軍
義満公

假花園



戯作者 柳亭種彦綴

倭繪師 歌川國貞画

柳蔭月朝妻 十編 大尾 山々亭有人作 梅朝樓國貞画

藪黄鷗八幡不知 十編 大尾 山々亭有人作 錦朝樓芳虎画

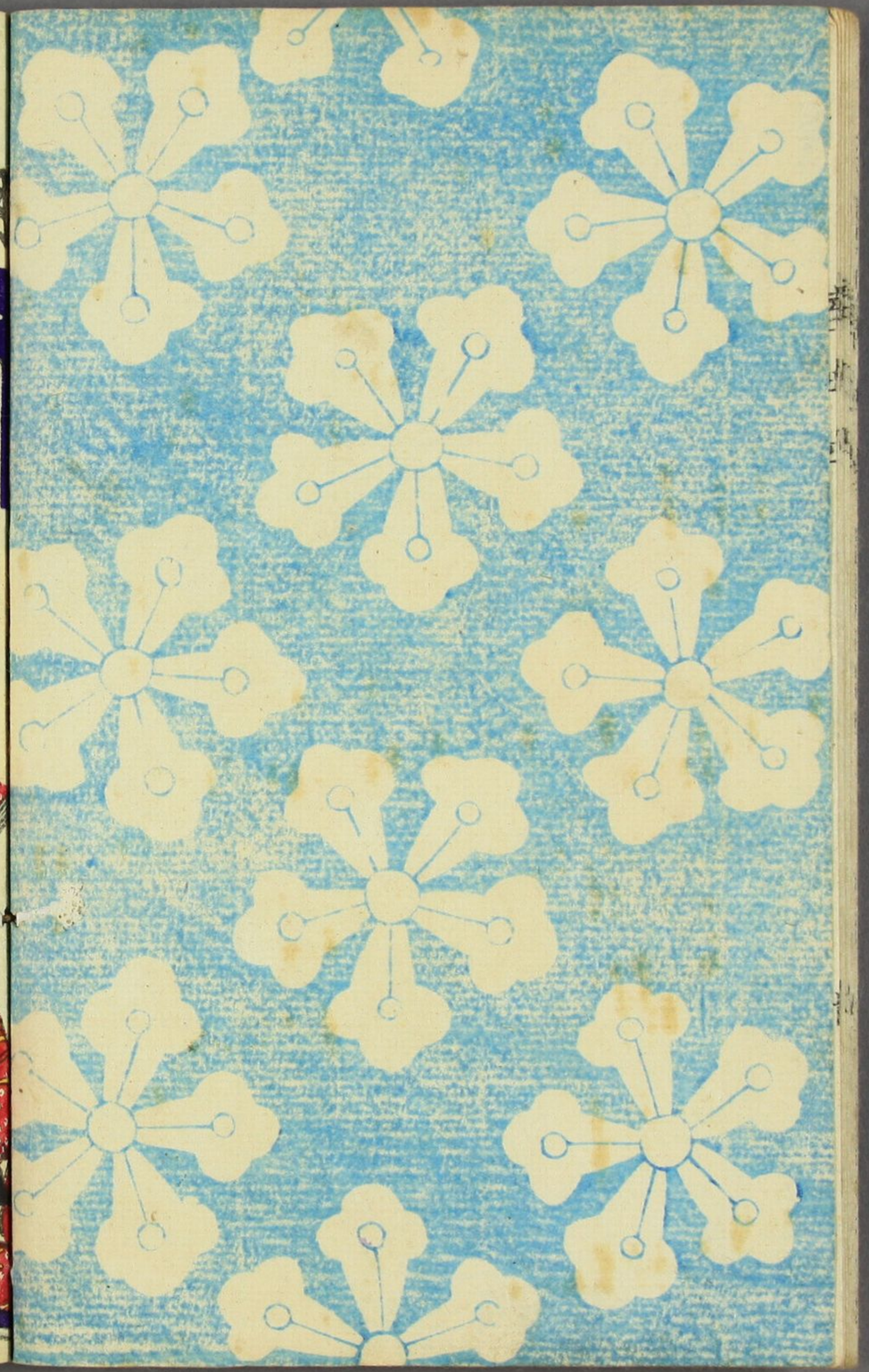
阿玉ケ池櫛月形 五編 大尾 爲永春水作 梅堂國要画

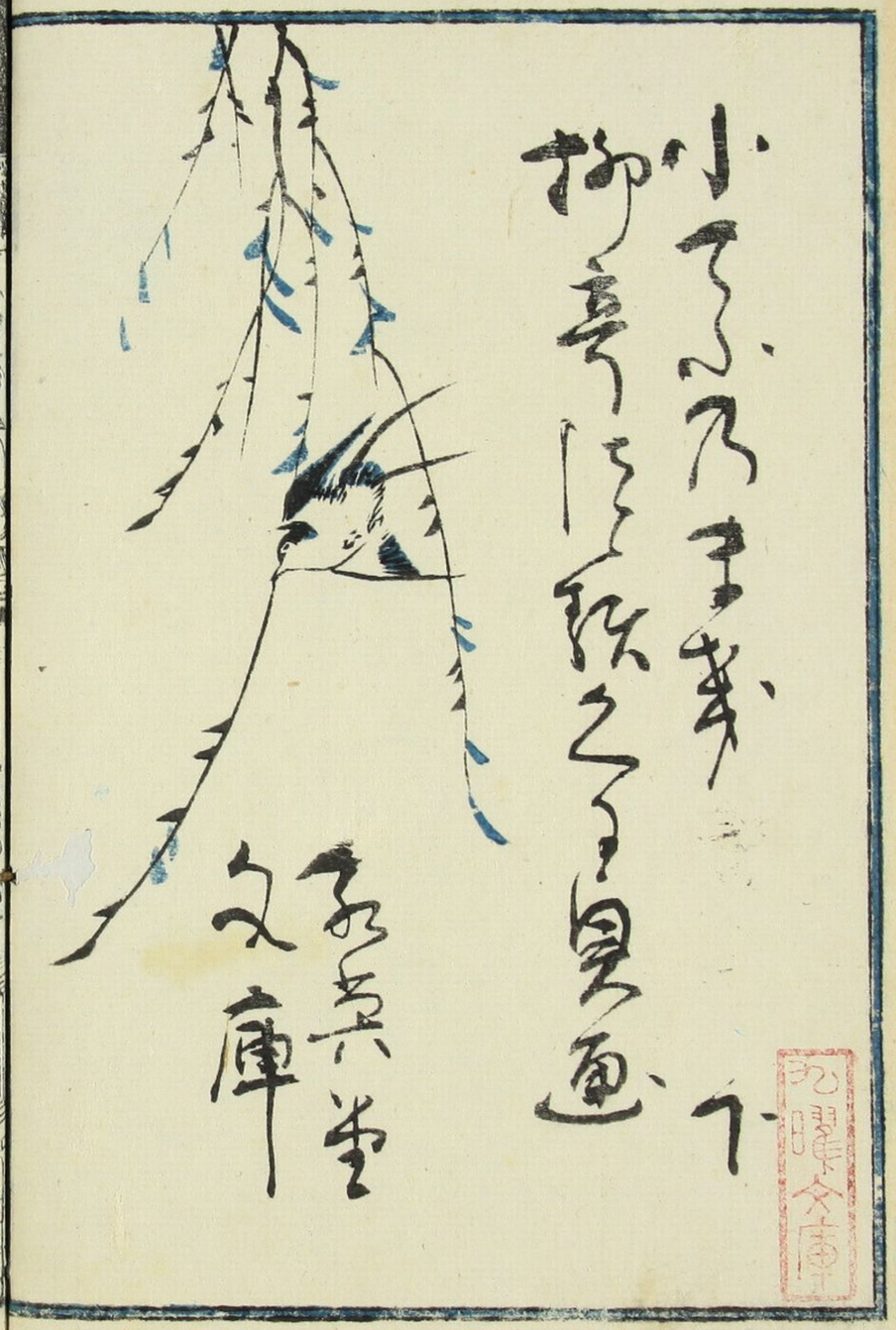
八犬傳犬の双紙 六十 大尾 柳亭作 國政画

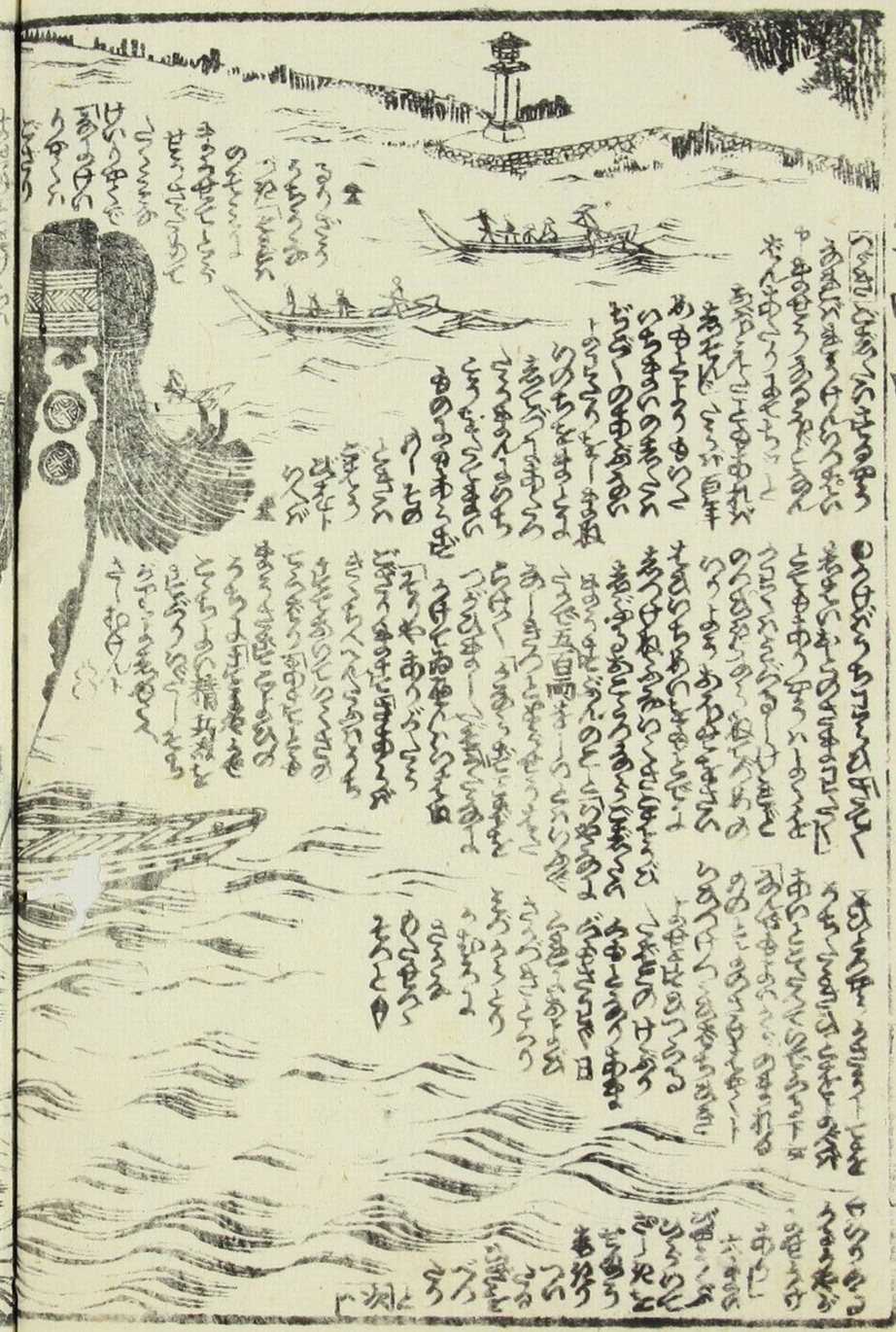
小學行儀法 全一冊

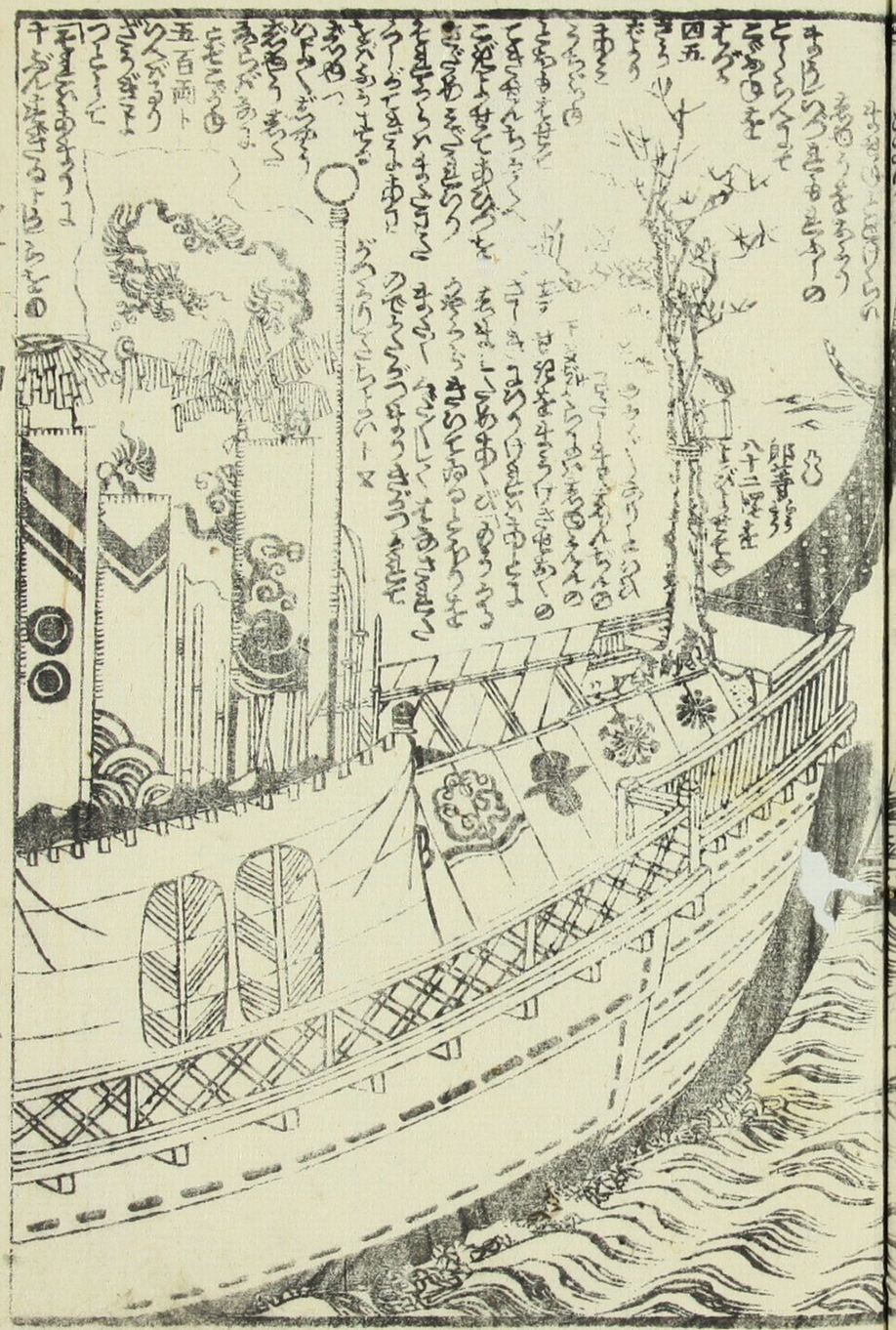
本家 實母散 さんぜんさんで ふじんちのみち 一切の妙薬 中橋南傳馬町東側 千葉堂孝補製

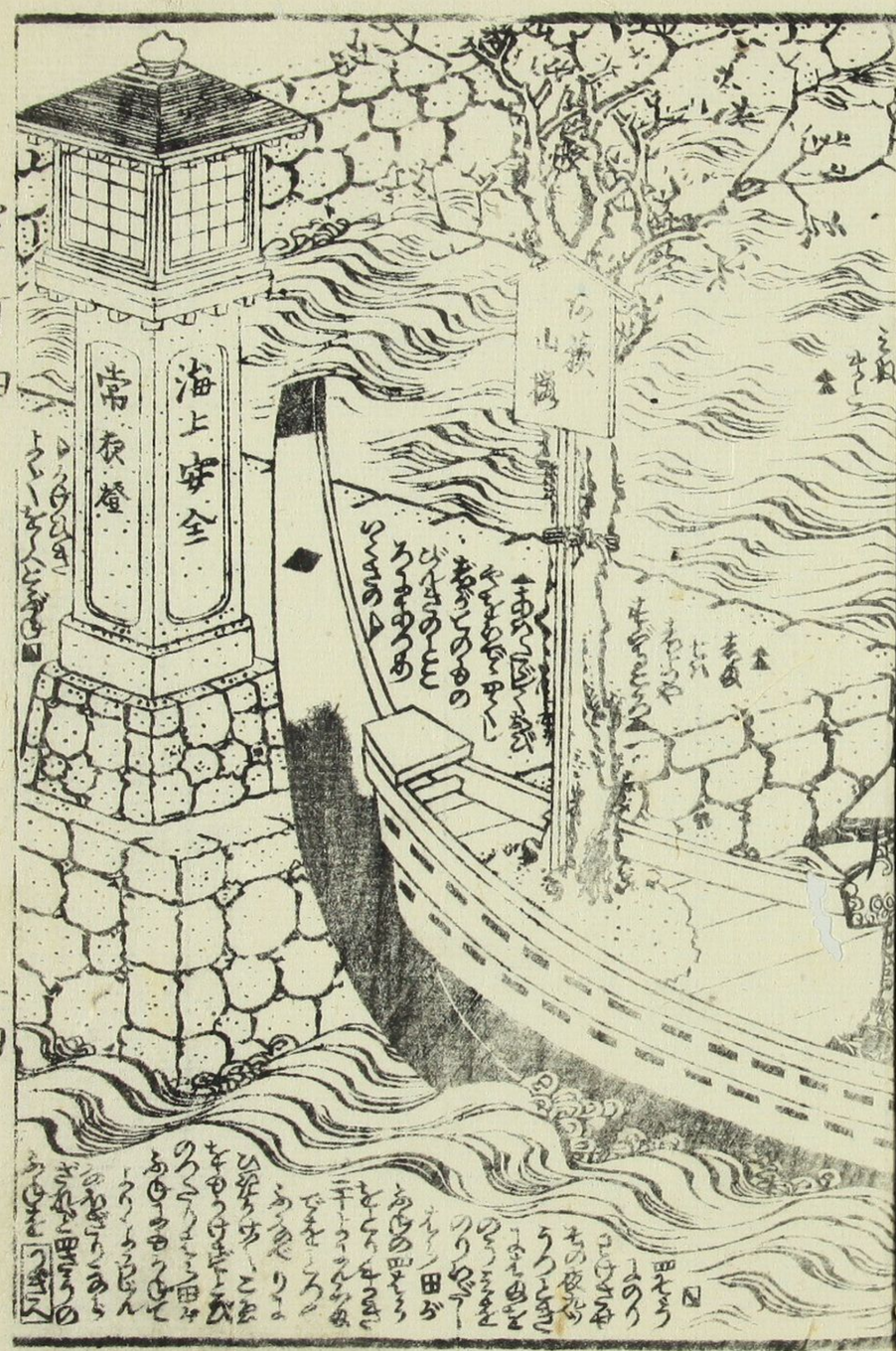
四扁下



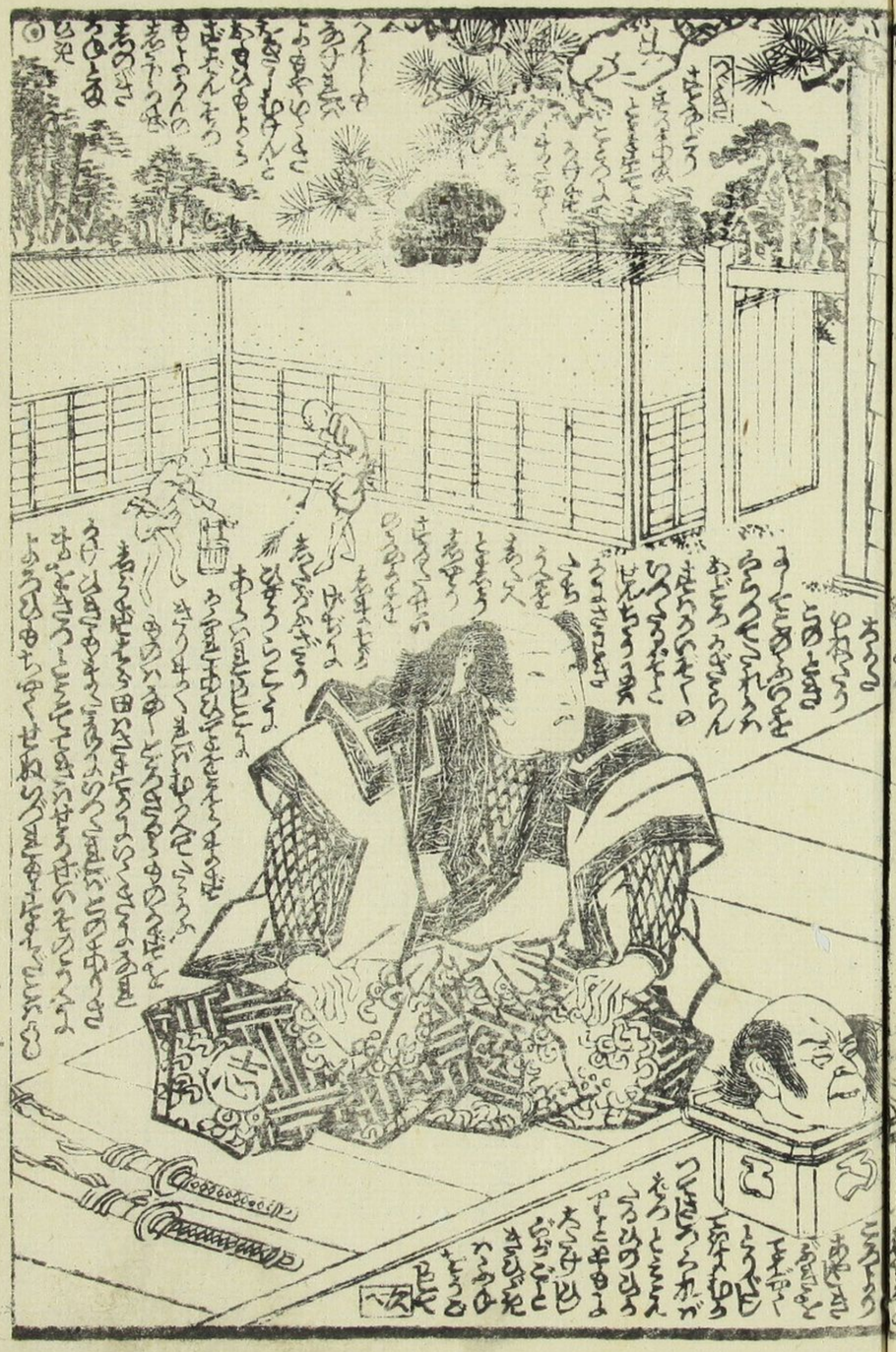

小てふ乃まま
柳亭にて頼る見通
文庫

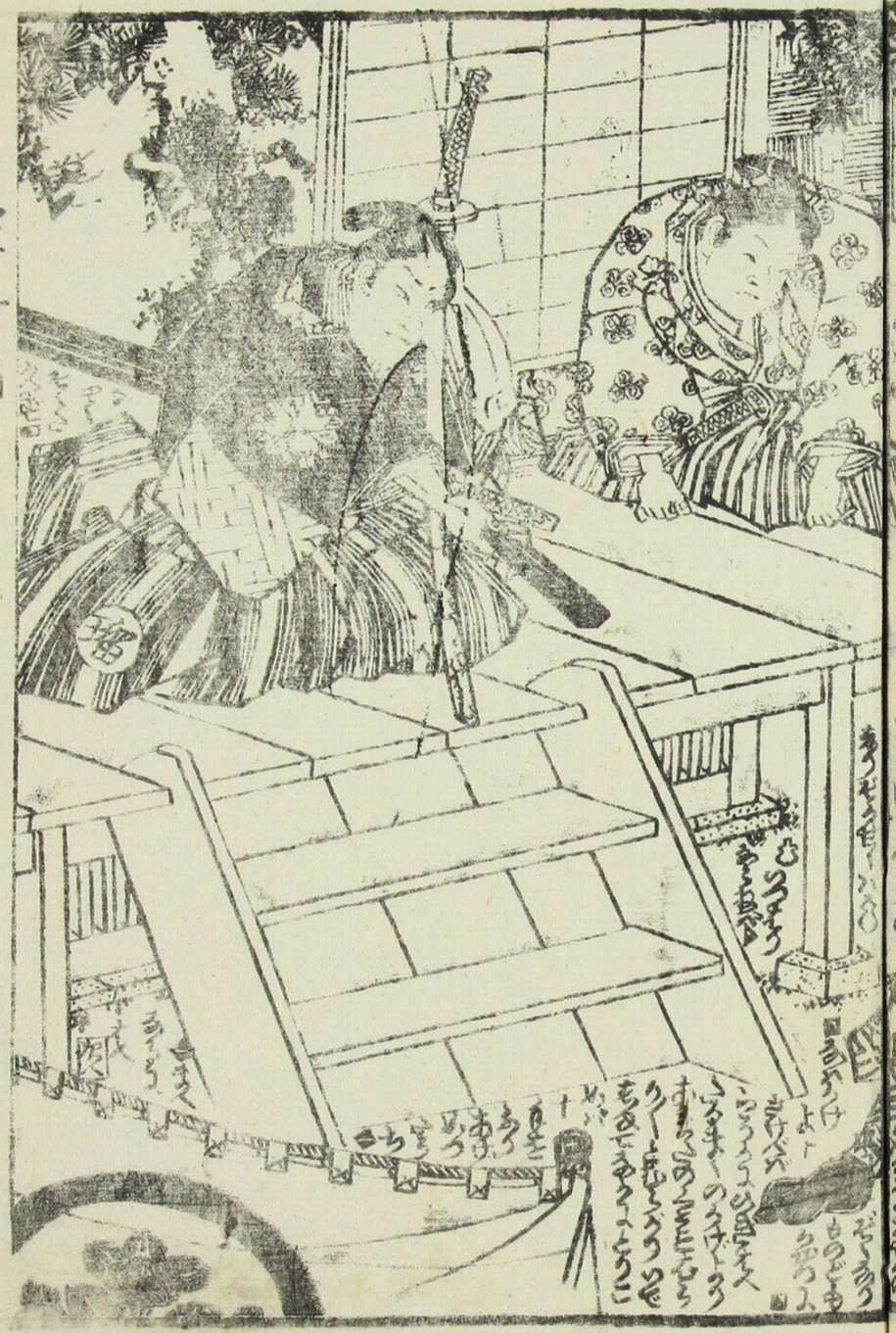




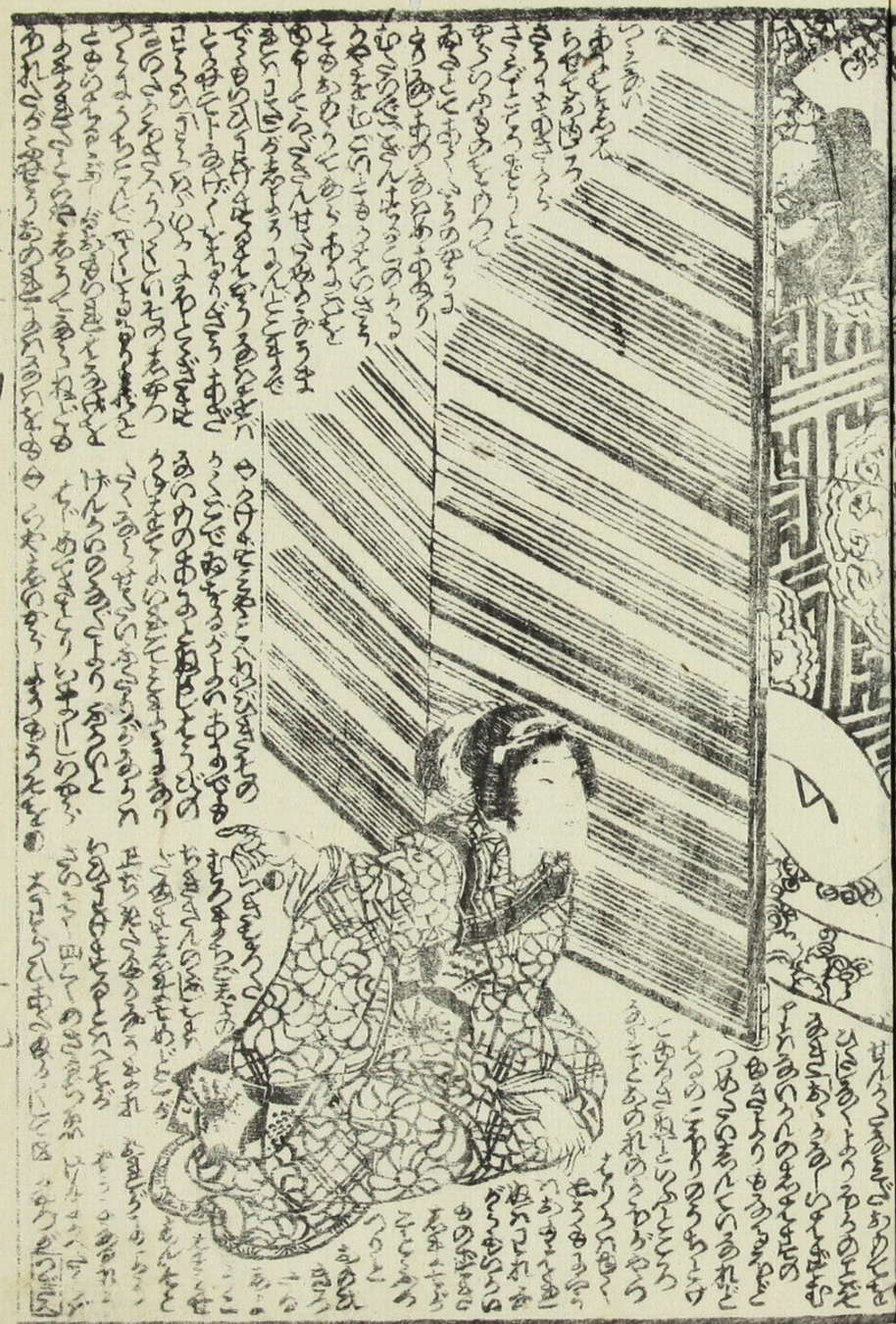

海上安全
常夜燈

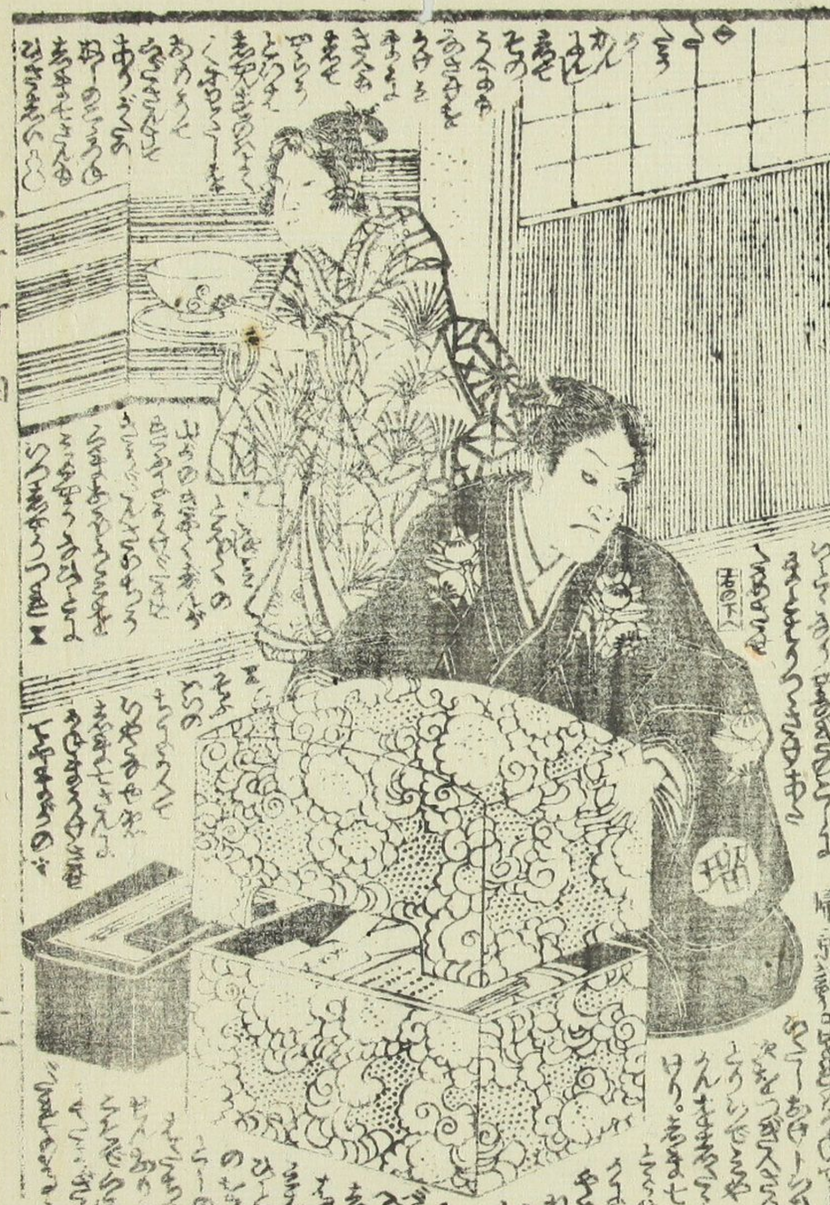
阿稚小橋

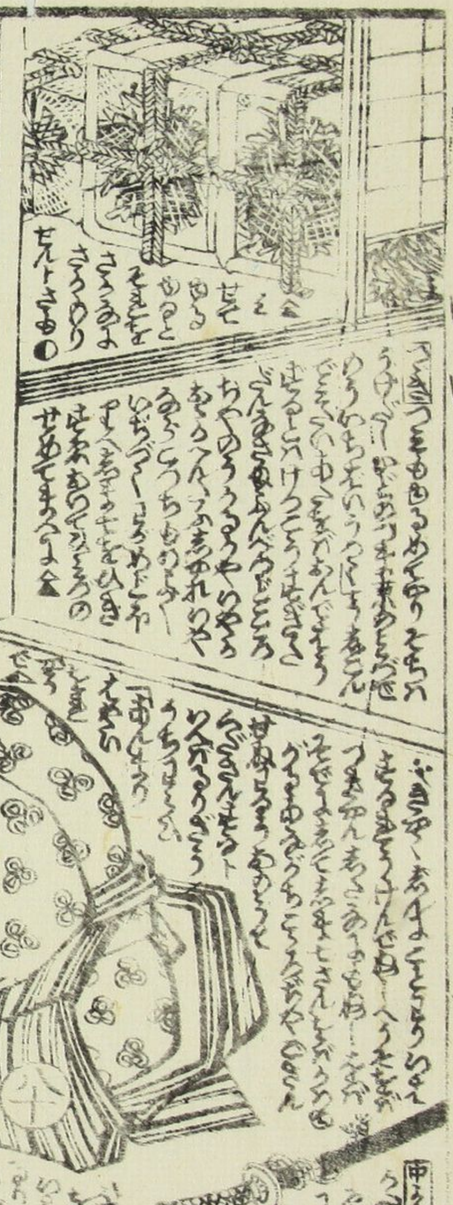




用水







種彦著
國貞画

地本綿繪團扇問屋

厚化粧萬年嶋田 廿編 春水作 大尾國貞画

室町源氏胡蝶巻 三十編 種彦作 大尾國貞画

鼠祠通夜譚 十編 種彦作 大尾國貞画

童謡妙々車 三十編 種彦作 大尾國貞画

薄俤幼日記 三十編 春水作 大尾國貞画

新局九尾傳 廿編 春水作 大尾國貞画

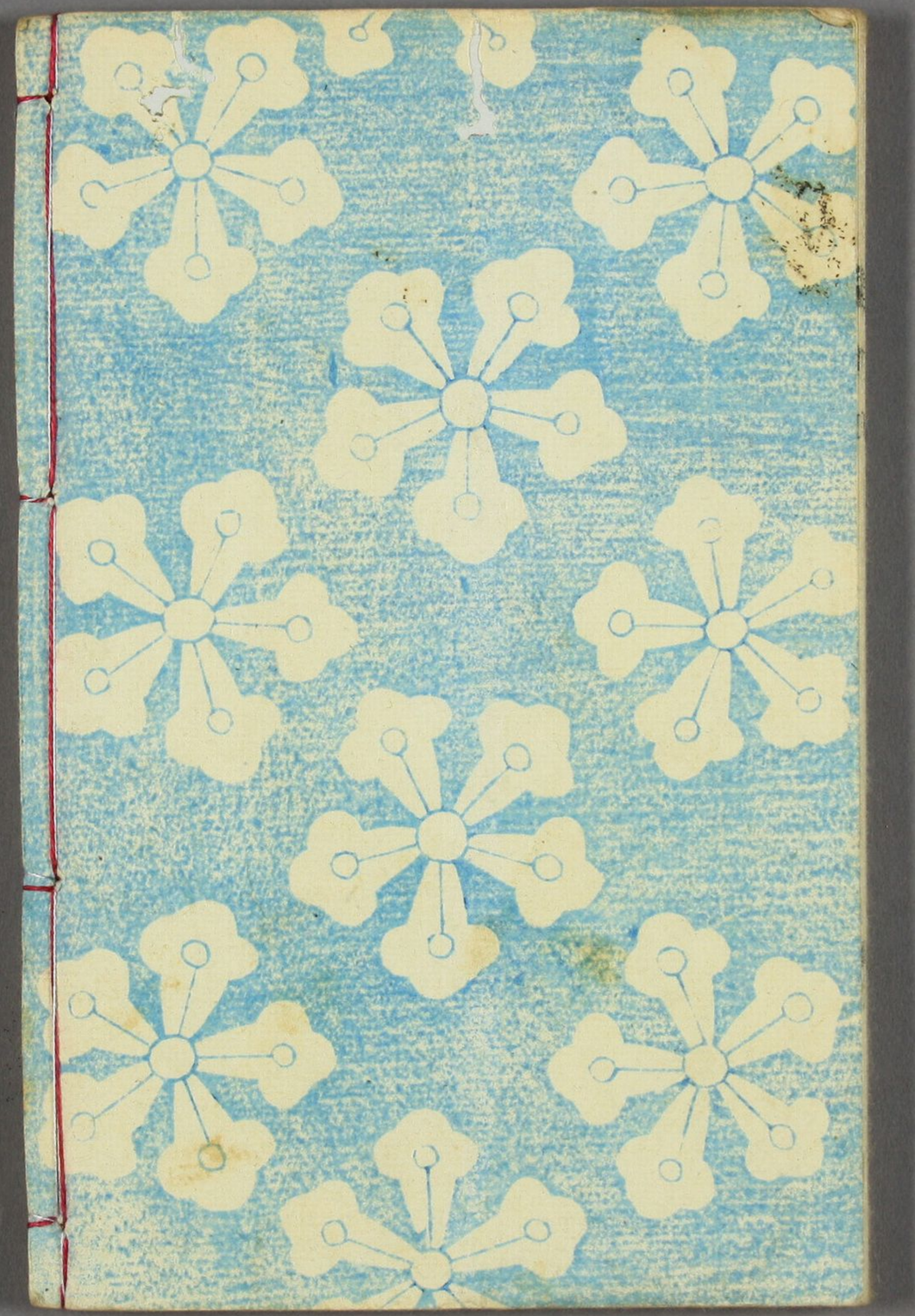
筆海四國聞書 十五編 種彦作 大尾國貞画

明鴉墨画廼禰襠 廿編 種彦作 大尾國貞画

花封菩玉章 十編 種彦作 大尾國貞画

七[illegible]葛飾譚 十五 種彦作 大尾國貞画

京橋區南傳馬町壹丁目二番地
出板人 林吉藏



小森壽々 [illegible]